

# ののはなだより 10月

2022年10月3日  
ののはな文京保育園  
<http://toukoukai.org/>



「保育理念」 いきいき

「基本保育方針」

子どもの成長・発達に寄与する人はすべて保育者

私たちは、今ここで、「こどもたちのたからもの」を大切にします

「今月の主題」 どしん どしん 大地をどん

地域で安心して子育てができるように



園のまわりの公園や梅畑は、少しずつ秋色に染まってきました。

私にとっての秋色といえば、唐松や白樺の黄金色、うるしの真っ赤な紅、松や樅（もみ）木の緑、その背景は、高く澄んだ青空です。それと、山から頂いたおくりものでした。唐松林の地面に広がるシメジのジュウタン、赤松林の枯葉の下から、わずかに頭を出している マツタケ（マツタケの生える場所は身内の人達にも教えない秘密）をほんの短い期間だけ味わえた秋の味でした。そこは、あの軽井沢より高い標高1,300メートルの高地で、自然に溢れ、澄んだ空気の大地、神秘的に満ちた星空は、別世界で、同郷の宇宙飛行士（油井亀美也さん）も幼少期から同じ星空・宇宙を眺め飛行士を目指されたのではないかと思います。

先日、相模原市民会館で行われた神奈川フィルハーモニー管弦楽団の演奏会に行ってきました。70人を控えるオーケストラの迫力ある演奏に圧倒され、充実したひと時を過ごすことができました。楽団員の中に園の保護者が「ホルンを独奏」しておられたことから演奏会がより身近に感じることができました。「ののはな」の子どもたちにもこの音をいつか聞かせてあげたいと思います。

秋の色、味、音を子どもたちと一緒に感じる10月にしていきます。

ののはな文京保育園 園長

